

チーム力で日本一へ

春光の訪れ

全国高校選抜大会に挑む

2月の関東選抜大会で初優勝を飾り、満を持して全国の舞台に挑む。目標はもちろん全国制覇だ。藤岡一雄監督(38)は「OBや保護者の思いも背負って、日本一を取りたい」と闘志を燃やす。

昨夏のインターハイ予選は、決勝で明秀日立に敗れた。その悔しさを知る深海星太主将(3年)らが中心となり、全員が一つの目標に向かうための高いチーム力を磨いてきた。

県予選を1位で突破して迎えた関東選抜大会は、大事な局面で決して受け身になることなく、攻めの姿勢を崩さずに戦い抜いた。木更津総合(千葉)との決勝は第1ペアが敗れて苦しい展開となったが、チーム力

ソフトテニス男子 霞ヶ浦



の高さを示し、逆転勝ちで頂点をつかんだ。全国選抜大会を勝ち抜く鍵を、指揮官は「後手後手にならず、いかに先手を取っていけるかが重要」と強調

関東王者として日本一に挑む霞ヶ浦男子ソフトテニス部の選手たち

調する。第1ペアを任せられることが多い深海主将・谷口健斗(3年)組が先勝できるかどうか、大きなポイントとなりそうだ。深海主将は「自分たちが勝って勢いづけたい」と意気込む。

バランスの良い攻めを展開する松本和希・桐原尚大(ともに3年)組、サーブを受ける時以外は前に出てボレーやスマッシュで攻め続ける「ダブルフォワード」の陣形を取る横田翔(3年)・一ノ宮大和(2年)組も強豪に相対する実力は十分だ。

部の歴史に新たな1ページを刻むため、深海主将は「自分たちのプレーをして日本一になりたい」と気合を入れる。関東チャンピオンとして、全国の舞台でも旋風を起こせるか。

(学年は新学年)
(海老沢裕太郎)

春の高校日本一を決める全国選抜大会(全国選手権含む)に挑む注目のチームを紹介する。